

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	素描演習3	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	マンガ・アニメーション科	コース名	全コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	45時間
単位数	3単位			授業形態	実習
教科書/教材	教員・卒業生の参考作品、各種モチーフ等。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	中田 和彦・大槻 透・伊東 明日香		実務経験の有無・職種	有・画家	
<b>学習目的</b>					
素描(デッサン)に於ける「ものの見方、表現方法」の基礎的な知識・技術を習得し、的確に描画できる実力を備えることを学習目標とする。					
<b>到達目標</b>					
1年次の基礎描写力を踏まえ、正しい素描の表現を出来るようになる。本格的な課題へ向けて描写力を鍛え、知識・技術をより深く学ぶだけでなく完成度の高い作品を制作できるようになることを到達目標とする。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	人物・静物・風景のモチーフを中心に1年次より難易度を上げた課題で制作する。 導入では全体に向けて解説をし、制作中は個人指導を主体とする。 作品ごとに最後は講評会を全体で行うか、成績採点後の返却時に個別に指導をする。				
注意点	実習授業ゆえに、集中力の無い学生や苦手意識の高い学生が手を止めたり居眠りをする場合があるので、逐一巡回、個人指導を行う。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題	80%	課題の完成度、レベル、理解度を総合的に評価する		
	授業態度	20%	作品制作への積極性を評価する		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	デッサンと記憶についての話	絵は記憶で描く事をより深く考察する事が出来る			
2回	石膏デッサン・立方体1	石膏の幾何形体を描けるようになる①			
3回	石膏デッサン・立方体2	石膏の幾何形体を描けるようになる②			
4回	静物モチーフ・単体1	静物を単体で描けるようになる①			
5回	静物モチーフ・単体2	静物を単体で描けるようになる②			
6回	静物モチーフ・ブロック1	形態と質感を描けるようになる①			
7回	静物モチーフ・ブロック2	形態と質感を描けるようになる②			
8回	静物モチーフ・ブロック3	形態と質感を描けるようになる③			
9回	静物モチーフ・ガラス1	質感の違いを描けるようになる①			
10回	静物モチーフ・ガラス2	質感の違いを描けるようになる②			
11回	静物モチーフ・ガラス3	質感の違いを描けるようになる③			
12回	遠近法・透視図法の基本	遠近法を理解できるようになる			
13回	静物モチーフ・相貫体1	幾何形体と静物を的確なパースで描けるようになる①			
14回	静物モチーフ・相貫体2	幾何形体と静物を的確なパースで描けるようになる②			
15回	静物モチーフ・相貫体3	幾何形体と静物を的確なパースで描けるようになる③			